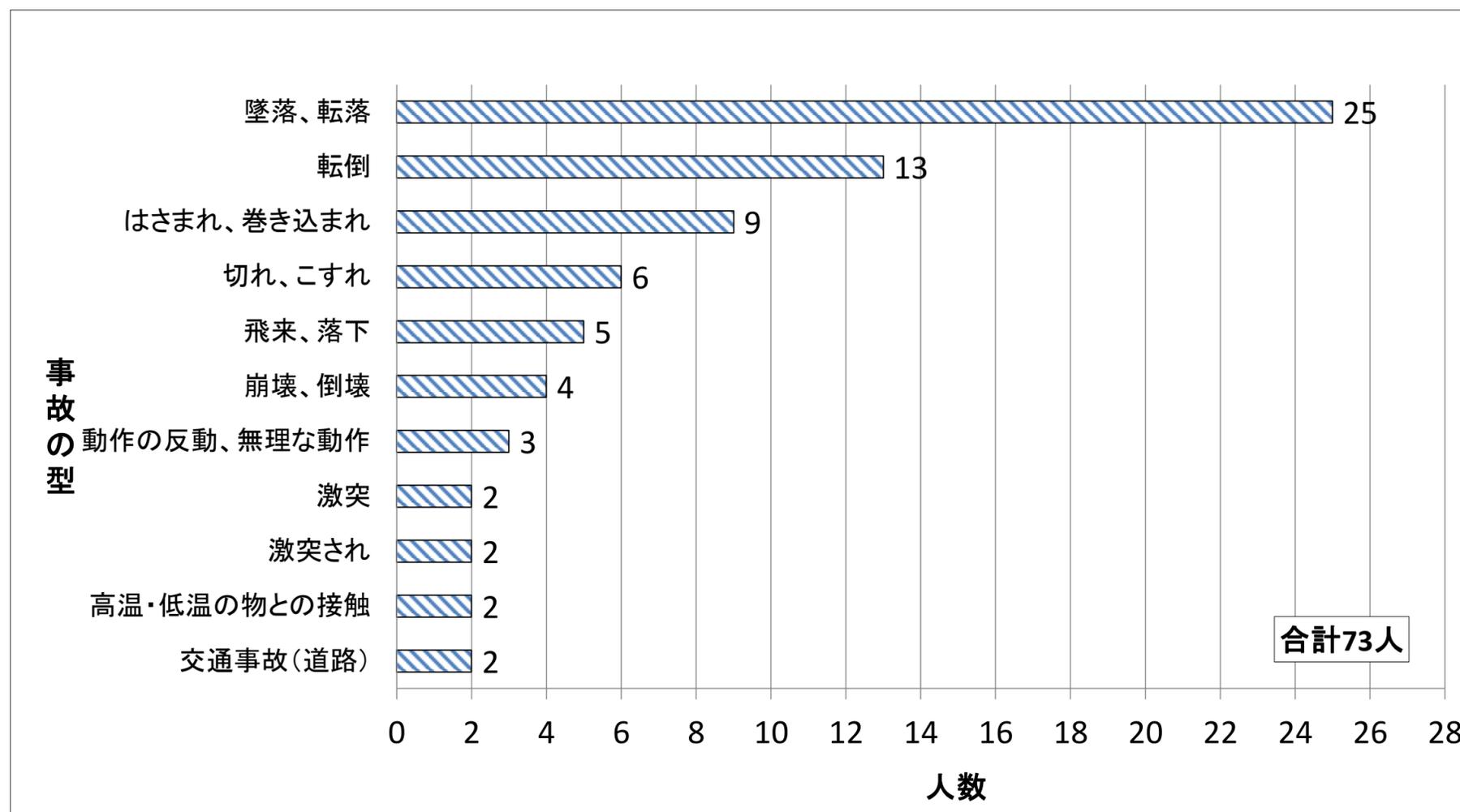


鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業の労働災害の発生状況(26年1月～12月)

1. 災害の原因別

平成27年3月末現在(確定値)



- ①墜落、転落災害では、屋根等の建築物・構築物等から墜落したものが8件、はしご等から墜落したものが7件、足場から墜落したものが6件発生したほか、トラック、建設機械等からの墜落が発生しています。
- ②転倒災害では、足場、通路、階段、作業床等の仮設物・建築物・構築物等によるものが8件(うち雪・凍結によるものが1件)、環境等によるものが4件、材料等によるものが1件発生しています。
- ③はさまれ、巻き込まれ災害は、ユニック車、ドラグショベル等建設機械によるもの5件のほか、加工機械によるものが3件、手工具によるものが1件発生しています。
- ④切れ、こすれ災害では、丸のこによるもの、エアタッカーによるものがそれぞれ2件ずつ、そのほか鉄筋の踏み抜き等によるものが2件発生しています。
- ⑤飛来、落下災害では、突風で床材が落下し足を負傷したもの、ウインチが落下し手を負傷したもの等が発生しています。
- ⑥崩壊、倒壊災害では、型わく支保工が崩壊したものが1件、材料等が倒壊したものが3件発生しています。
- ⑦激突災害では、石膏ボードに頭が当たりバランスを崩し、可搬式作業台から飛び降りたもの、段差を跨ごうとしたところ、鉄筋に足を引っかけたものが発生しています。
- ⑧激突され災害では、荷卸し中、後退してきたショベルローダーとトラックの間に挟まれたものなどが発生しております。
- ⑨高温・低温の物との接触災害では、暑熱な場所で熱中症を発症したものが2件発生しています。

2. 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業の災害事例(同種災害が多く発生している事例等を例示)

事故の型	起因物	災害の概要
墜落、転落	はしご等	被災者ともう一人の作業員が2台並べた可搬式作業台上(高さ1.47m)でシャッター取付工事中、もう一人の作業員が、被災者の作業台の上に移ろうとした際、作業台がずれ、被災者が墜落した。
墜落、転落	足場	ブラケット足場の組立作業中、未結束の足場板(高さ1.8m)に足を掛けたところ、足場板とともに墜落し、前腕を骨折した。
墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	鉄骨造建物解体工事現場において、鉄骨梁上(高さ約2.5m)で安全帯を使用せず、H型鋼の取り外し作業を行っていたところ、ボルトが緩んで鉄骨梁が動いた拍子に墜落し、骨盤部を骨折した。
墜落、転落	その他の仮設物、建築物、構築物等	荷揚げ予定場所が満載になったことから、補強を行っていないスラブ上に、梁、鉄筋材等を荷揚げしたところ、フラットデッキが脱落し、その上にいた鉄筋工が墜落、手足を骨折した。
墜落、転落	トラック	トラックのあおり上部(高さ約1.7m)に乗り、荷物の荷締め作業を行っていたところ、滑って墜落し、足を骨折した。
転倒	作業床、歩み板	RC床板解体で発生した鉄筋を受取中、バランスを崩し転倒し、手すりの単管クランプに右目が当たり、眼球が破裂した。
転倒	作業床、歩み板	資材置場で車にタイルを積み込む作業をしていたところ、ビニールシートに足を取られ転倒し、膝部を骨折した。
はさまれ、巻き込まれ	高所作業車	壁塗装下地パテ作業中、電気工が運転する高所作業車が方向転換した際に、壁と高所作業車との間に挟まれた。
はさまれ、巻き込まれ	旋盤	ねじ切り旋盤で鋼管のねじ切り作業後、回転停止前にチャックを緩め、ウエスでねじ部の切削油を拭いたところ、軍手をした右手が巻き込まれ、鋼管とリーマーの間に小指が挟まれ切断した。
切れ、こすれ	その他の一般動力機械	高所作業車上で、壁ボード貼り付け作業をしていたところ、スイッチ部に触れ、エアタッカーの針を右大腿部に刺した。
飛来、落下	支保工	型枠解体作業中、パイプサポートを外した後、梁底の型枠が落下し、左足を骨折した。
激突され	掘削用機械	木製床を取り外し、残材を運搬車両に積み込む作業中、ドラグショベルで床材を引き上げたところ、根太がはね上がり、右足に当たった。